

国立国会図書館のデータベースを利用した 千葉市図書館の本の探し方

国立国会図書館をご存知でしょうか？

「日本中の本を集めている図書館」「国会議員からの依頼で、政策上の調査を行う図書館」など、様々な役割を担う機関ですが、この「調べ方の道案内」では、「調べものに役立つデータベースを複数運営している」という側面に注目しています。

以下、そのうち 3 種類の検索システム・データベースを、調べもので実際に活用した 5 つの事例を通してご紹介します。

目次

1. 国立国会図書館サーチ
2. リサーチ・ナビ
3. レファレンス協同データベース



※関連サイト・データベース最終閲覧日：2018 年 1 月 5 日

1. 国立国会図書館サーチ (<http://iss.ndl.go.jp/>)

国会図書館の蔵書検索システム「国立国会図書館オンライン」をはじめ、全国の県立・政令指定都市立図書館の蔵書などを、一括して検索できるサービスです。

基本的には「ある本がどの図書館に所蔵されているか」を調べるためのツールですが、膨大な量の情報が含まれることから、単なる所蔵目録、リスト以上の効果を発揮することがあります。

□事例 1：『時は償う』という伝記を収録した作品集を探している。

千葉市で所蔵している作品集、論文集などの中には、各作品のタイトルをデータとして登録していないものがあります。実際、千葉市図書館で「時は償う」と検索しても、該当する資料は見つかりません。

しかし、国会図書館サーチで検索すると、『ある女人像：近代女流歌人伝』という作品集に収録されていることがわかります。『ある女人像』で市内の本をあらためて検索すると、中央図書館で所蔵していることがわかります。

書誌データの細かさは図書館ごとにバラつきがあります。しかし、国会図書館の詳細なデータを利用することで、それを補うことができた例です。

○この事例で見つかった資料

ある女人像 近代女流歌人伝
吉屋 信子／著 朝日新聞社 1979.6
小説家、吉屋信子による女流歌人 10 人の伝記集。

□事例 2：財田川事件の判例について、解説を集めたい。

国会図書館サーチは、**雑誌記事索引**などとも連携しています（詳しくは「[検索対象データベース一覧](#)」のページをご覧ください）。

判例の解説は法律関係の雑誌に掲載されていることが多いのですが、千葉市の検索システムでは、巻頭特集などの大きな見出しがついた記事までしか探すことができません。

国会図書館サーチで「財田川事件」と検索し、検索結果を「国立国会図書館オンライン（雑誌記事索引）」で絞り込みます。すると、雑誌『ジュリスト』の、1979 年 10 月 15 日号その他に記事があることがわかります。この情報を元に市内の資料を探すと、千葉市の図書館でも、『ジュリスト』の当該号を保存していることがわかります。

○この事例で見つかった資料

ジュリスト
有斐閣
代表的な判例紹介誌の一つ。現在は月 1 回、過去には月 2 回発行。千葉市図書館では 1961 年 5 月 15 日号から所蔵（ただし欠号あり）。同分野の雑誌に、『判例時報』『判例タイムズ』などがある。

□事例 3：「鑿彫」という熟語の読み方を知りたい。

国会図書館サーチは、**辞書・事典**などとも連携しています。

漢和辞典を引けば、一般に「鑿」は「のみ／サク」、「彫」は「ほ（る）／チョウ」などと読むことがわかります。しかし、国語辞典で「のみほり」や「サクチョウ」と引いてみても、この熟語は見つかりません。

そこで、国会図書館サーチで「鑿彫」と検索してみます。すると、「のみ - えり【鑿彫】（日本国語大辞典）」という情報がヒットします。

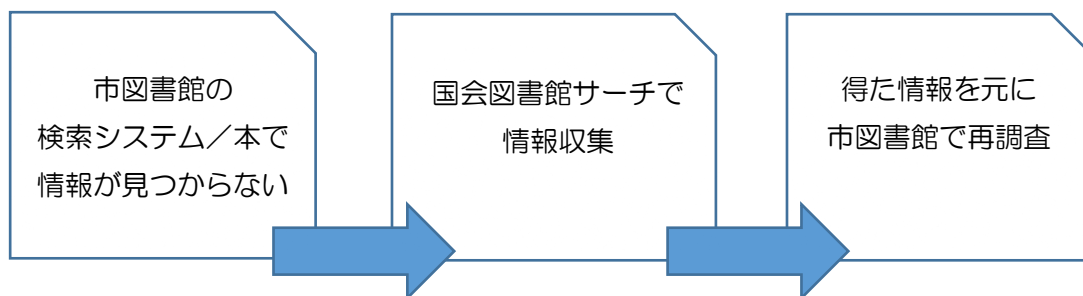
日本国語大辞典は千葉市にも所蔵がありますので、国会図書館まで赴かずとも、紙面で情報を確認することが可能です。

○この事例で見つかった資料

日本国語大辞典 第 2 版（全 13 巻）
小学館 2000.12～2002.1

日本最大の国語辞典。言葉の由来など周辺情報も豊富に掲載しており、単なる字引としてだけでなく、百科事典としても活用できる。国会図書館サーチでは、見出し語など一部の検索・閲覧が可能。

「国立国会図書館サーチ」使い方のイメージは…



2. リサーチ・ナビ (<http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>)

国会図書館が作成した調べ方案内、パスファインダー集です。広範な分野の調べものについて、「まずどんな資料に当たればよいか」のヒントが得られます。テーマ（分野）もしくはキーワードから検索が可能です。

□事例 4：幕末の請西藩主、林忠崇の写りが載っている本はあるか。

幕末に関する本を一冊ずつひも解いていくのが基本ではありますが、パスファインダーを活用することで、より効率的に、もしくはより網羅的に情報を収集できることがあります。

リサーチ・ナビに「肖像（日本人）」というパスファインダーがあるのでこれを参考してみると、国会図書館が「日本人名情報索引（人文分野）」というデータベースを公開していることがわかります。このデータベースで「肖像あり」という条件を指定し「林忠崇」と検索すると、『サムライ古写真帖』その他の資料がヒットします。

個々人の肖像写真の有無は、通常だと書誌データに登録されない情報です。そのため、この「日本人名情報索引」の存在に気づくかどうかで、調査の効率が大幅に変わってきます。

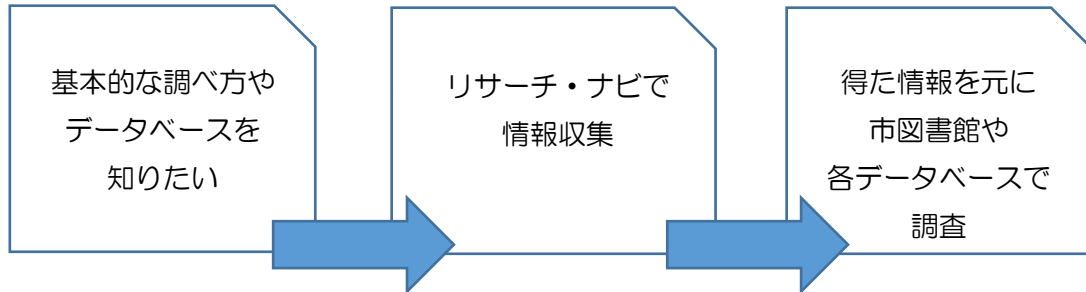
○この事例で見つかった資料

サムライ古写真帖 武士道に生きた男たちの肖像

新人物往来社 2004.8

幕末を中心に、武士の肖像写真などを集めた資料。

「リサーチ・ナビ」使い方のイメージは…



3. レファレンス協同データベース (<http://crd.ndl.go.jp/reference/>)

全国の図書館が受けた質問・回答の事例を閲覧できるサービスです。

□事例 5：全人口に対する、左利きの人のおおまかな割合を知りたい。

千葉市の検索システムで「左利き」と検索することで、多くの関連資料を集めることが可能です。しかし、レファレンス協同データベースを利用してみると、さらなる発見があるかもしれません。

実際に同データベースで「左利き」と検索してみると、「右利きの人と左利きの人の割合を知りたい。世界および日本における割合もわかるとよい」（埼玉県立久喜図書館）などの事例がヒットします。

第三者の調査例を参考にすることで、思わぬ切り口から資料が見つかる可能性が高まります。また、直接回答に結びつく事例が登録されていないときでも、探し方の参考になるような事例が見つかる場合があります。

ちなみに左利きの人の割合は、資料によって数値は異なりますが、おおむね 10 パーセント程度と考えられているようです。

「レファレンス協同データベース」使い方のイメージは…

